

第 1 回経営審議会

議事概要

開催日:平成 30 年 6 月 25 日(月) 午後 2 時 15 分から午後 4 時 30 分

場 所:附属図書館 4 階学習室

出席者:横内正明理事長、福田誠治副理事長、谷内治彦理事、阿毛久芳理事、新保祐司理事
桐井幸雄委員、金巻裕委員、矢嶋亘総務課長、小宮文彦経営企画課長

■理事長挨拶

横内理事長よりあいさつ

○新委員自己紹介

議 事

(1) 平成 29 年度都留文科大学事業報告書について

○担当から会議資料 1-1、1-2、1-3 に基づき説明。

まず、平成 29 年 6 月 9 日地方独立行政法人法の一部が改正されたことにより平成 30 年 4 月 1 日より施行されたことに伴い都留市公立大学法人の業務運営並びに財務及び会計に関する規則が全部改正されたことを説明。

第 2 期中期計画 3 年目 124 項目に対応した年度計画 185 項目の主な項目について説明。

全体評価として「B」評価。中期計画の進捗は概ね順調。

(参考:第 1 期中期計画 1~2 年目 全体評価「B」評価、3~6 年目 全体評価「A」評価)

※市評価委員会からの平成 29 年度の指摘事項 14 項目のうち、半分の項目について平成 29 年度中に改善されている。

※審議の結果、承認。都留市評価委員会へ提出

(2) 平成 29 年度都留文科大学決算について

○担当から会議資料 2-1、2-2、2-3 に基づき説明。審議の結果、提案通り承認。

【収入】 予算額 3,767,981 千円 決算額 3,325,192 千円

【歳出】 予算額 3,767,981 千円 決算額 3,274,022 千円

(3) 監査結果報告について

・各監事より資料 3 に基づき説明。

業務監査・会計監査について、監査結果の概要及び、是正又は改善を要する事項について説明があった。

(4) 文学部 3 学科改革の現状について

○担当から会議資料 4-1、4-2、4-3 について説明。審議の結果、提案通り承認。

文学部 3 学科(国文学科、英文学科、比較文化学科)のカリキュラムの魅力向上のため、3 学科横断履修モデルを設定し、学生の多様な能力の開発につなげる。

(5) 新しい交換留学について

○担当から会議資料 5 に基づき説明。審議の結果、提案通り承認。

- ・英語を学ぶ語学留学を目的としていたが、欧米から日本語を学ぼうとする大学生が激減している。英語で日本文化を学ぶという留学生へ変化している。
- ・本学の学生が留学までに英語で学べるように実力をつけると同時に、外国の学生が英語で授業を受けられるように本学の授業を変更する必要がある。

(6) その他

なし

4 報 告 事 項

(1) 平成 30 年 3 月（平成 29 年度）卒業者の就職状況について

○担当から報告資料 1 について説明。

平成 29 年度の就職状況確定数について報告。

教員就職者 178 名（前年度 177 名）公務員 84 名（前年度 78 名）企業 339 名（前年度 345 名）

全体就職率 98.7%〈全国平均〉98.0% 文系 98.2%

(2) 地域交流研究センターと COC 推進機構との関係について

○担当から報告資料 2 に基づき説明。

本センターの機能に本機構の事業を集約し、本学に多様な人々が集い、学生と共に学びを深めるための企画・運営支援を通じた成果を地域・世界へ発信していきたいと考える。

(3) 首都圏都留市会と本学との連携及びオープンキャンパスなどの広報活動について

○担当から報告資料 3 に基づき説明。

- ・平成 30 年 4・5 月都留市広報と併せ、都留文科大学との新たな連携（情報提供・支援・提案等）を模索するためのパンフレットを 5 月 1 日に首都圏都留市会員の皆様に送った。
- ・オープンキャンパス PR 活動及び本学の改革 PR について、受験生に近い本学学生の声を広報アピールに使いたいと考えアンケートを実施。結果を参考に高校訪問・高校説明会等で PR を図っていききたい。

(4) その他

筒井委員が任期満了となり本日の会議をもって退任されるため、ご挨拶いただいた。

以上